

— 自動化による人間の幸福への貢献をめざして —

Automation for the Enhancement of Human Well-being

目的

(1) 自動化技術の改良と(2) 自動化技術の新規適用分野の開拓をとおし
て、人々の幸福に貢献する。

Contribute to Human Well-being through (1) Enhancement of Automation Technology
and (2) Exploring of new application area for the Automation Technology.

背景／問題設定

20世紀は、各種自動化技術により大量生産の基盤が構築され、社会に貢献して
きた。21世紀は、生産だけではなく、より大きな枠組みで人間の活動を捉え、
持続的成長を維持しえる、より複雑なシステムの構築が求められている。自動
化システム部会では、今までに培われた自動化技術の改良と応用により、こ
の複雑化したシステムの構築に貢献しようと考えている。

Contribute to the Sustainable Development through Automation Technology.

戦略／方法／注目技術領域

これまで、自動化が難しかった分野の課題を抽出して、自動化に求められる
技術の方向性を探索するため、下記の分野に注目している。

- (1) 廃棄物リサイクル処理(循環型社会の構築の促進)
- (2) 技能の伝承(高齢化・人口減少社会における生産技術水準維持・発展)
- (3) ホームオートメーション(より快適な生活・地球にやさしい生活)

(1) Recycling of products. (2) Production Skill Transfer. (3) Home Automation.

活動計画

(1) SI2007におけるオーガナイズドセッション「ホームロボット&システム」と「自
動化システムの要素技術及び一般」を主催。

(2) 見学会開催(2回を予定)。

第1回7月21日、産業総合研究所(つくば)。第2回11月ごろを予定。

Organized Session on SI2007: "Home Robots and System." and "Automation Technology".
Technical Tour (2 times a year)

1) Home automation, 2) Recycle, 3) Human skill

部会長: 横浜国立大学 杉内 肇 (sugi@ynu.ac.jp)

メンバー: 村上 弘記, 安達 弘典, 吉見 卓, 玉井 正信, 江木 博志, 大内 茂人, 落合 康住, 木村 利明,
三浦 純, 吉田 秀久, 阪口 健, 鈴木 高宏, 河村 隆, 水川 真, 永井 正夫, 細貝 英実

